

## 中小・小規模企業の競争力向上

### ○主な取組状況

「ものづくり中小企業・女性職場環境改善支援助成金」

○H29年5月～

女性が働きやすい職場環境の改善に取り組む中小製造業者・建設業者を支援

- 女性の人材確保や定着のため、女性専用設備（トイレ、更衣室、休憩室等）の設置、改修に必要な経費の一部を助成
- 平成29年度実績  
7社、2,472千円を交付決定

改修前



トイレ兼更衣室



倉庫

改修後



トイレとパウダールーム



更衣室兼休憩室

## 中小・小規模企業の競争力向上（地域商業の活性化）

### ○主な取組状況

□ 商店街の活性化

#### 1 シャッターヒラクプロジェクト

（12月開始）

従来の「空き店舗活用事業」の補助対象要件の見直し（商店街の1階部分以外にも拡大）、支援の在り方も伴走型の寄り添うスタートアップ支援とした。

#### 2 空き店舗の活用可能性検討プロジェクト

高齢化が進む商店街に、若い世代の取り込みを目指した事業を実施。

（名称）ママ撮って！

こがね市場 de フォトブース

（場所）黄金市場（小倉北区）

（期間）1月9日（火）～2月28日（水）

SHUTTER HIRAKU PROJECT  
シャッターヒラク  
プロジェクト

北九州市内にある商店街の  
空き店舗への補助制度



賃借料補助OK 改装費補助

北九州市 産業経済部 商業・サービス振興課

電話：093-842-2212 携帯：093-842-1000 北九州市産業経済部

左) シャッターヒ  
ラクプロジェクト  
チラシ（A4判）



こがね市場de  
フォトブース  
上) チラシ  
左上・左下  
ブース設置状況

## 中小・小規模企業の競争力向上（地域商業の活性化）

### ○主な取組状況

#### □クラウドサービスの活用推進

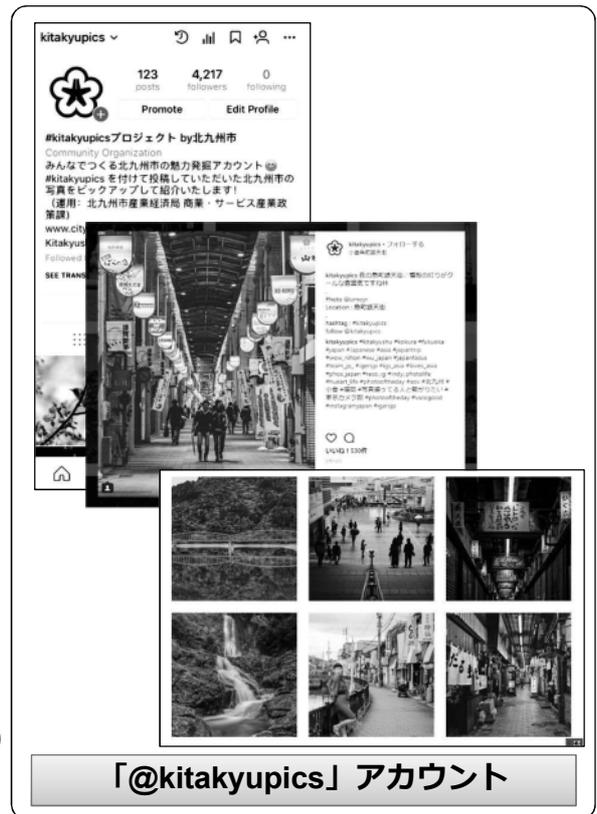
（平成28年度から継続実施）

セミナー等の開催を通して業務効率、生産性を大幅に向上させるITサービスを積極的に紹介。

#### □SNSの活用促進（同上）

- 1 事業者向けにインスタグラムを活用した集客増やブランディングセミナー開催等
- 2 商業エリアの魅力発信を目的とした「@kitakyupics」（キタクキューピクス）を継続運用。フォロワー数、投稿数は現在も増加中。

（フォロワー数） 4,217人（H30.3末時点）  
（投稿数） 28,669件（同上）



## 充実した物流基盤を活用した物流振興

### ○主な取組状況

#### ■国際貨物定期便の運航が決定

- ・ ANA Cargo（2018.6.4～、週5便）
- ・ 関西（22:00発）⇒北九州（23:10着/0:40発）  
⇒那覇（2:30）⇒中国・アジア6都市（早朝）
- ・ 「沖縄貨物ハブ」を活用し新たな国際物流ルートを提供

#### ■国際貨物チャーター便の誘致

- ・ 「B747-8F」「アントノフ124」などの大型貨物機
- ・ カナダから馬、オーストラリアから乳牛を輸入
- ・ 一般貨物の輸出入チャーター
- ・ H29d（13便）、H28d（19便）、H27d（20便）

#### ■集貨促進

- ・ 貨物定期便の長期安定運航を目指した集貨促進
- ・ 東九州自動車道沿線など集貨背後圏の拡大（大分・宮崎）
- ・ 精密工業製品や鮮魚・野菜などの生鮮貨物の集積

#### ■海上空港の特長を活かす「シーアンドエア輸送」

- ・ 長大重量貨物など陸上輸送が困難な輸送ニーズに対応



## 充実した物流基盤を活用した物流振興

### ○主な取組状況

#### ■フェリー航路の輸送力向上

新門司に拠点を置くフェリー3社の新造船8隻が投入完了。平成29年まで長距離フェリーの貨物量が8年連続で増加。

#### ■新規航路の誘致

##### ①コンテナ航路の拡充

韓国・中国を中心に30以上の港とダイレクトに結び、サービスが向上。29年のコンテナ取扱量は過去最大。

##### ②定期国際RORO航路が新規就航

自動車部品や半導体製造装置等の輸送需要に対応するため、北九州港で初めての定期国際航路が平成30年4月より週6便運航開始。

##### ③中古自動車輸出の航路拡充

新門司自動車物流センター等の拠点化が進み、中古自動車の輸出のため、オセアニア・カリブ地域への3航路が就航している。



## 次世代自動車産業拠点の形成

### ○主な取組状況

#### 北九州アップデートモビリティ研究会の開催

- ・SBドライブ(株)との連携協定に基づき、自動運転バスの実用化を目的とした研究会を発足
- ・平成30年度の走行実証の検討に向けた研究会を4回開催  
【研究会概要】

発 足：H28.6

メンバー：SBドライブ、先進モビリティ、第一交通産業  
西日本鉄道、西鉄バス北九州、九州工業大学  
早稲田大学、愛知製鋼、日本信号  
北九州産業学術推進機構、北九州市(事務局)



#### 自動車産業セミナーの開催

- ・自動車関連サプライヤーに対し、最新の業界動向を学ぶ機会を提供し更なる技術底上げを図るため、電動化・共有化などの現状と影響などについてセミナーを実施。  
(H29.7.7開催 52社・団体 65名の参加)

## 我が国をリードするロボット産業拠点の形成

### ○主な取組状況

#### 1 産業用ロボットの導入支援

##### ◆産業用ロボット導入支援センター

- ・企業訪問による支援活動 企業訪問件数 205件
- ・中小企業向けロボット活用セミナー開催（平成29年6月21日）参加者115名
- ・人材育成：生産性向上スクール・ロボット編 7講座、参加者115名

##### ◆産業用ロボット導入支援補助金

- ・補助案件：3件（プラント向け強化プラスチック加工、チョコレート、お餅）

#### 2 ロボット技術の実証・実用化支援

##### ◆インフラ点検ロボット実証・実用化支援

- ・実証フィールドの提供：市内5ヶ所
- ・実用化研究会：市内開発企業10社を含む22会員
- ・国家戦略特区の活用：  
電波法に係る特定実験試験局の免許発給手続の短縮

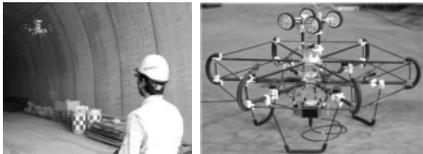
#### 3 介護ロボットの導入支援

- ◆介護作業の見える化（介護施設における作業観察・分析）
- ◆介護ロボットの導入実証（7分野11機種）
- ◆北九州市介護ロボット開発コンソーシアム（39会員）
- ◆北九州市介護ロボットマスター育成（修了者数41名）

#### 産業用ロボット



#### インフラ点検ロボット



#### 介護ロボット



## その他の主要施策（航空機産業）

### ○主な取組状況

福岡県と連携し、航空機人材育成講習の開催や企業への専門家派遣、航空機産業展示会への出展等の事業を実施

#### ●福岡県航空機産業振興会議

【会員】141企業・団体（県内企業中心）  
（内市内 57企業・団体（H30.1月時点））

- ものづくりの街としてのポテンシャルを活かし、航空機関連産業の誘致や地元企業の参入支援に積極的に取り組む

